

[ホーム](#) > [組織でさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > 平成30年度 活動報告

## 平成30年度 活動報告

掲載日：2019年3月11日更新

### 平成30年度普及・公開事業の紹介

埋蔵文化財調査センターの普及・公開事業の活動について、随時報告しています。

#### 3月2日（土曜日）に平成30年度設楽ダム関連発掘調査成果報告会「新設楽発見伝5」が開催されました。

調査研究課の尾崎です。

3月2日（土曜日）に設楽町の田口特産物振興センターで平成30年度設楽ダム関連発掘調査成果報告会「**新設楽発見伝5**」が開催されました。

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターの職員が**滝瀬遺跡**、**石原遺跡**、**中村遺跡**、**ハラビ平遺跡**の発掘調査成果を発表しました。また愛知学院大学の白石浩之先生をお招きし、「文化変動する先史時代の日本」というタイトルで、旧石器時代研究についてご講演いただきました。

**来年度も成果報告会は開催されます。**ぜひご来場ください。



上段左：滝瀬遺跡の発表の様子

上段右：遺物展示の様子

下段左：発表、講演後に行われた座談会の様子

下段右：白石先生の講演の様子

#### 当センター保管の遺物がテレビ番組で紹介されます

調査研究課の岡田です。

当センターが所蔵する遺物がテレビ番組で紹介されます。撮影も当センターの特別収蔵庫で行われました（撮影は平成30年11月20日）。

紹介される遺物は朝日遺跡出土の鯉の咽頭歯（いんどうし）などです。これらが番組でどのように紹介されるのか楽しみです。

番組名は「歴史秘話ヒストリア」.NHK総合テレビで2月6日水曜日の22時25分から23時10分放送予定です。



撮影風景：見慣れた特別収蔵庫がスタジオに変わりました。番組ではどのように映るのでしょうか。



本番直前：スタンバイOK。撮影に入ります。

咽頭歯（いんとうし）：コイ科などの魚は口に歯を持たないが、その代わりに喉に歯を持っており、口で食物を吸い込み、その歯（咽頭歯）ですりつぶして食べている。

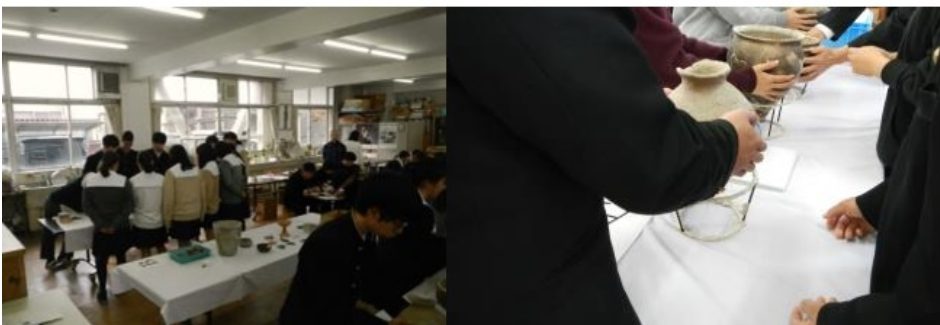
## 瑞陵高校で出前授業を行いました

調査研究課の岡田です。

12月10日に瑞陵高校で出前授業を行いました。普通科2クラス、食物科1クラスで120名の生徒さんが参加しました。

今回は全時代の遺物を幅広く用意し、3つのテーブルに分けて展示しました。生徒のみなさんには班ごとに順に遺物を見たり触れたりしてもらいました。テーブルで解説をしましたが、瑞陵高校の先生方にも参加していただきました。Aテーブルでは煮炊きに使った甕（かめ）や釜（かま）がいかに熱効率をよくするために工夫されているか理解してもらいました。Bテーブルでは、須恵器（すえき）と土師器（はじき）の違いについて。それぞれの小片を水につけてみて、乾き具合から透水性の違い、指で弾いて締まりの強さを比較してもらいました。Cテーブルでは時代順に土器・陶磁器をならべ、愛知の焼きものの変遷を理解してもらいました。また今回は食物科の生徒のみなさんも参加するので、「食に関する」遺物もたくさん用意しました。煮炊きに使った甕（かめ）〈弥生時代〉、貯蔵用の壺〈弥生時代〉、食物を盛る高杯（たかつき）〈弥生時代〉、お米を蒸す甑（こしき）〈古墳時代〉、お湯を沸かす釜〈室町時代〉などです。

時間はあっという間に過ぎてしまいました。今回の出前授業が生徒のみなさんの役に立っていただけたら嬉しい限りです。



左：Cテーブルで愛知の焼きものの変遷の説明を聴いている生徒のみなさん。解説は瑞陵高校の先生です

右：貯蔵用の壺と煮炊き用の甕（かめ）を手に取り比べている生徒のみなさん。甕（かめ）の軽さに驚いていました。

## 愛知黎明高校第2回オープン講座に参加しました

調査研究課の岡田です。

11月18日（日曜日）に愛知黎明高校第2回オープン講座に参加しました。講座名は「炎－古代人の知恵」で、「火」に関する内容を用意しました。

前半は各時代の「甕」、「釜」を用意し、手にとってこれらの共通の用途を考えてもらいました。参加者は形状や重さ、厚み、ススの付着などから「煮炊きに使った調理器具」であることを当てました。次に、これらを時代順に並べてもらいました。時代とともに進化した「熱効率を考え炎の当たる場所をよくするための工夫」を推理した高校生チームは正解を出しました。

後半は「マイギリ」と「火鑽臼（ひきりうす）」を使って古代人同様に火を起こしてもらいました。高校生チームは火種を起こし、新聞紙に着火するところまでできました。

80分でしたが、参加者の皆さんには古代人の火を扱う知恵に触れていただくことができましたと思います。



今回使用した「甕」・「釜」です。すべて直火にかけ煮炊きをしたり、湯を沸かす道具です。

左：甕－朝日遺跡（弥生時代）

中：S字甕－月縄手遺跡（古墳時代） 右：羽釜－下津宿遺跡（戦国時代）



左：土器を手にとって観察しています。

右：マイギリと火鑽臼（ひきりうす）で火を起こしています。

**朝日遺跡**：清須市、名古屋市西区に所在。東海地方最大級の弥生時代の集落遺跡。周囲に環濠を巡らす遺構が確認された。

**月縄手遺跡（つきなわていせき）**：名古屋市西区に所在し、庄内川右岸の微高地上に位置している。古墳時代前期の遺構と、さらにその下層で弥生時代前期にさかのぼる遺構面が確認された。

**下津宿遺跡（おりつしゅくいせき）**：稲沢市に所在する。京、鎌倉を結ぶ鎌倉街道沿いで15世紀初頭から鎌倉幕府の守護所がおかれていた。古墳時代から室町後期の遺物が出土している。平安時代から室町時代の遺物の出土が多い。

## 秋の特別公開2018が終わりました

調査研究課の岡田です。

秋の特別公開2018（11月5日から11月11日）が終わりました。来館者は96名となり、多くの方に来ていただきました。期間中は朝日遺跡出土国指定重要文化財4点を公開し、普段展示できないものをご覧いただくことができました。また、10日（土曜日）11日（日曜日）は特別開館日として、拓本講座も行いました。朝日遺跡出土の本物の土器片の拓本をとってオリジナルの葉に加工してお持ち帰りいただきました。